

# 令和5年度 学校評価シート

学校名： 和歌山県立和歌山東高等学校

校長名： 市川 貴英

**目指す学校像・育てたい生徒像（スクールポリシー等に基づいて記載する）**

校訓「自主・自律・敬愛」のもと、地域の全日制普通科高校としての地域から求められる役割を果たすため「生徒が確実に成長すること」を第一の目標とし、「社会でよりよく生きる力を持った生徒が育つ学校」を目指す。基礎的教養の形成と規範意識の向上から、地域社会において自他を尊重し多様な人々と協働できる生徒を育て、健全で持続的な発展を担う職業人として地元和歌山で活躍する人材を育成する。

**学校評価の公表方法**

自校ホームページに掲載

現状・進捗度	A	十分に達成している。	(80%以上)
	B	概ね達成している。	(60%以上)
	C	あまり十分でない。	(40%以上)
	D	不十分である。	(40%未満)

自己評価（分析、計画、取組、評価）							学校関係者評価（月 日実施）
番号	計画・取組			評価（月 日現在）			
	重点目標	現状	具体的取組	評価項目と評価指標	進捗度	進捗状況	今後の改善方策
1	主体的に学ぶ意欲を向上させ、基礎的教養を形成する。	B	・少人数学級を編成し、生徒個々に応じて丁寧に指導することで中途転退学及び原級留置者の減少に繋げる。	・中途転退学及び原級留置者の年度当初生徒総数の8%未満。			
			・基礎学力の定着を目指し、校内支援体制（面談・教育相談・SC・SSW）の活用とともに積極的な保護者連携を図り、生徒実態の把握を適切に行う。また、生徒個々の学力に応じた学習指導に努める。	・成績不振者の前年度比2割減。 ・生徒の情報を家庭と共有するための積極的な連携ができていないか。			
2	ルール・規則を守る（自律する）力を育てる。	B	・生徒個々の情報共有から問題行動を未然に防ぐ取組を進める。	・特別指導及び懲戒処分件数の前年度比3割減。			
			・薬物乱用や喫煙の防止への啓発活動を充実する。	・薬物に関する講演会の年1回以上の実施及び喫煙防止への啓発通信の月1回の発行。			
			・アセンブリや個々の指導から規範意識向上の機会を充実を図る。	・学年別アセンブリを学期に2回以上実施。			
3	自他を理解して協調する力を育て、自己の将来設計を支援する。	B	・中学校訪問や生徒面談及び家庭との積極的な関わりにより、生徒個々の課題について理解、把握に努める。	・生徒の情報共有のための学年会議を月1回以上実施。			
			・生徒のキャリア形成を支援し個々に応じた適切な進路指導を実践する。	・早期からの生徒の進路相談体制の確立と学期に2回以上の進路LHRの実施。			
4	部活動の積極的な参加推進と地域のボランティア活動への参加を奨励する。	B	・部活動離れを止めるために教員の働きかけも含めた積極的な活動参加を促す。 ・地域との連携・協働を目指して、ボランティア活動を生徒会活動の一つとして位置づける。	・部活動実活動数を全校生徒の4割以上。  ・ボランティア活動参加者数年間のべ100名以上。			